

平成29年度長久手市地域包括支援センター事業計画書

1 基本情報

センター名称	愛知たいようの杜地域包括支援センター
担当地区	西小学校区・南小学校区・市が洞小学校区
運営法人名称	(福)愛知たいようの杜

2 平成29年度重点取組項目に対する具体的取組事業

重点取組項目	事業目標(スローガン)	具体的な取り組み
個別地域ケア会議を通じた多職種連携	地域ケア会議の学習会を実施し、個別ケア会議を開催する。 【数値目標】 1、地域ケア会議の勉強会を両地域包括支援センター合同で、年3回開催する。 2、個別ケア会議を年5回開催する。	1、ケアマネジャーに個別ケア会議を開催する目的を知ってもらう。(介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントに関する実践力向上に繋がる) 2、外部講師による地域ケア会議の学習会を実施する。 3、多職種連携が構築され、地域ケア会議を実施している先駆的な市町村へ視察に行く。 4、ケアマネサロン、夢ネット事例検討部会、入退院調整部会等の既存の会議を活用し、多職種連携を構築して行く。(地域ケア会議学習会) 5、ケアプランチェックを利用して事例を収集し、個別課題の抽出から地域課題に繋げる。
市民の力を活かした新しい総合事業の実施	市民によるサロン、集う場所を把握し、地域資源(総合事業の受け皿)に繋げると共に市民によるつどい場作りの支援を行う。 【数値目標】 1、いきいきライフ推進事業の活用を推進する。(5ヶ所) 2、生活コーディネーター及び地区社協との定例会を開催する。(4回/年) 3、新聞販売店・信用金庫・コンビニ等の民間企業を訪問する。(2～3社)	1、生活コーディネーター及び地区社協との連携強化を図る。(定期的に会議を開催し情報共有及び活動計画を話し合う) 2、まちづくり協議会に参加し、ネットワークの構築に努め、地域課題の抽出に活用する。 3、担当圏域の主な民間企業をリストアップし、顔の見える関係作りに努める。(挨拶回り、情報交換等) 4、既存の介護予防教室等で新しい介護保険制度(新しい総合事業について)の講話をする。 5、既存のサロンを活用して、市民主体となるように働きかける。
情報収集・発信	地域包括支援センターの知名度を上げ、地域住民にとって親しみやすい相談窓口となる。 【数値目標】 1、啓発活動を含めた出張相談や出前講座を年40回実施する。	1、高齢者が集う場所に参加し、講話(地域包括ケア構築に資する題材)することで市民への情報発信を促進する。 2、地域に出て、地域の情報を収集し、必要に応じた迅速な対応を行う。(地区踏査) 3、いきいき倶楽部へ参加し、地域包括支援センターのPRをする。 4、出張相談を継続して行い、地域の情報収集、地域課題の把握に努める。 5、地域包括支援センターの名称を高齢者が親しみやすい愛称をつくる。